

鏈家網（北京）科技有限公司鏈家研究院との協力覚書について

平成 29 年 8 月 31 日
一般財団法人日本不動産研究所

日本不動産研究所は 8 月 2 日、中国・北京の鏈家網（北京）科技有限公司鏈家研究院と協力覚書の締結に係る調印式を行いました。両機関は長期的な協力関係を構築するため、相互協議の上、下記の活動を行います。

1. 共同研究
2. 研修活動
3. 専門家会議、セミナーや座談会などの開催
4. 両機関発行の刊行物や書籍の交換
5. その他

鏈家網（北京）科技有限公司は 2001 年に設立された新しい企業ですが、現在は中国 32 の都市に約 8,000 直営店舗、約 13 万人の従業員を擁する中国最大手の不動産仲介業者です。2016 年の取引総額は 1 兆 2,600 元（約 16 兆円）、特に北京では取引総量の約 47.7%と圧倒的なシェアを有します。そのなかにあって、鏈家研究院は、保有する大量の物件情報、取引実績や各直営店舗の業績データ等の解析を通じた不動産市場の分析に乗り出しており、中国においてもその報告書が公表されるなど、注目を集めています。

鏈家研究院は高度成長期及びバブル期、そして現在に至る日本の不動産市場の動向に強い関心を寄せています。日本不動産研究所は、アジアにおいては既に複数企業と提携関係を維持しているところですが、鏈家研究院との協力関係の確立により、大量の実証データに係る分析を通じて、中国不動産流通市場にかかる実態の調査研究が進むと期待しています。



担当: 曹・南川